

八潮(埼玉)の専属運送業

月内にも完全子会社化

一元管理で顧客対応強化



根津社長

有力コイルセンターの根津鋼材(本社・東京都荒川区東日暮里、社長・根津訓光氏)は、八潮事業所(埼玉県八潮市)が専属で起用する運送業の小山運輸(本社・東京都足立区)を完全子会社化する。現在、詳細を詰めているが、早ければ今月下旬にも契約を締結するとのこと。

根津鋼材(社長・根津訓光氏)は、子会社の村田鋼業(千葉県浦安市鉄鋼通り)を含むグループ全てのコイル

センター拠点を対象に、省エネ対策を促進する。具体的には各工場の照明を、現在の水銀灯

LED化で省エネ促進

グループ全拠点の照明

積み荷が小ロット化し、短納期化する傾向が強まる中、これまでに以上にきめ細かい対応が必要となっている。その一方で顧客管理の厳格化などがますます求められ、客先サービス

の向上を図るためにも「輸送を含めた一元管理体制を構築すべきだ」(根津社長)と判断した。小山運輸はトレーラーや大小トラックなど計11台を保有。子会社

化した後も経営陣など現体制は変えないが、根津グループとしての一体運営によって包括的に輸送エリアの拡充や配送効率化などを検討・推進していくことになりそうだ。

いるとのこと。現在までに須賀川、長沼(いずれも福島県)の工場はLED化が完了。八潮(埼玉県)と蓼科(長野県)および子会社の村田鋼業についても、年内には切り替えを終える予定だ。同社はこれまでも社用車にハイブリッド車を積極的に登用するなど省エネには前向きに取り組んできた。地球環境への配慮に加え、労働環境の改善や安全作業への対策も順次、行っている。

からLED照明に全面リプレースする。消費電力は1個当たり700ワから133ワに削減され、グループ全体で省エネが押し進められる。投資総額は3500万円だが、同社によれば約5年間で投資回収を見込んで

いるとのこと。現在までに須賀川、長沼(いずれも福島県)の工場はLED化が完了。八潮(埼玉県)と蓼科(長野県)および子会社の村田鋼業についても、年内には切り替えを終える予定だ。同社はこれまでも社用車にハイブリッド車を積極的に登用するなど省エネには前向きに取り組んできた。地球環境への配慮に加え、労働環境の改善や安全作業への対策も順次、行っている。